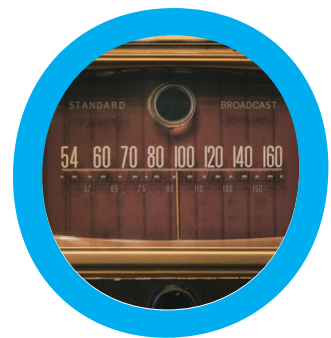


RADIO



ハンセン病 問題を伝える

～メディアの責任・ラジオの可能性～

講師：崎山 敏也氏 (TBSラジオ記者)

2020年11月28日(土)

14時00分～15時30分

YouTubeによるライブ配信

【視聴無料】事前予約不要、人数制限なし

※直接ご講演を聞ける会場は準備していません。

https://youtu.be/d7mMd_5JpPU

ハンセン病問題にかかわりを持つ職業の方をお招きする職業シリーズ第5弾の講師は、TBS ラジオの記者として長年ハンセン病問題に取り組んできた崎山敏也さん。ハンセン病問題との出会い、仕事のやりがい、ハンセン病問題から学んだこと、音声メディアの役割などについて、ラジオ記者という立場からお話していただきます。

崎山 敏也さん (TBSラジオ記者)

1964年、鹿児島県生まれ。

1987年、東京大学教養学部科学史・科学哲学分科卒業
毎日新聞記者を経て、TBS勤務。

ラジオのニュース担当記者と、映像・音声全般のアーカイブを担当。ネットメディア「現代ビジネス」や雑誌「子供の科学」などにも執筆中。



石山春平さん(ハンセン病回復者)を取材する崎山さん(写真左)